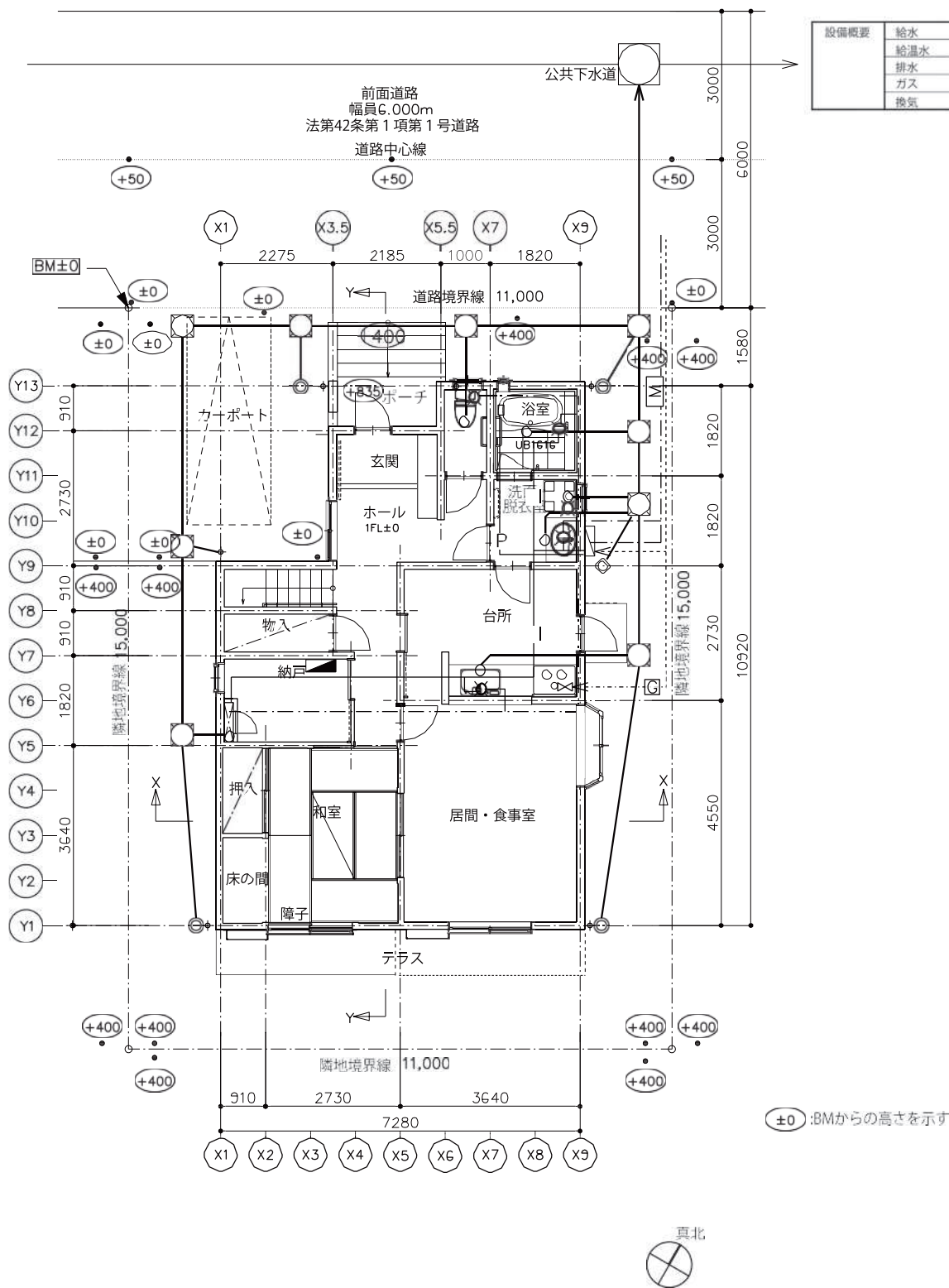
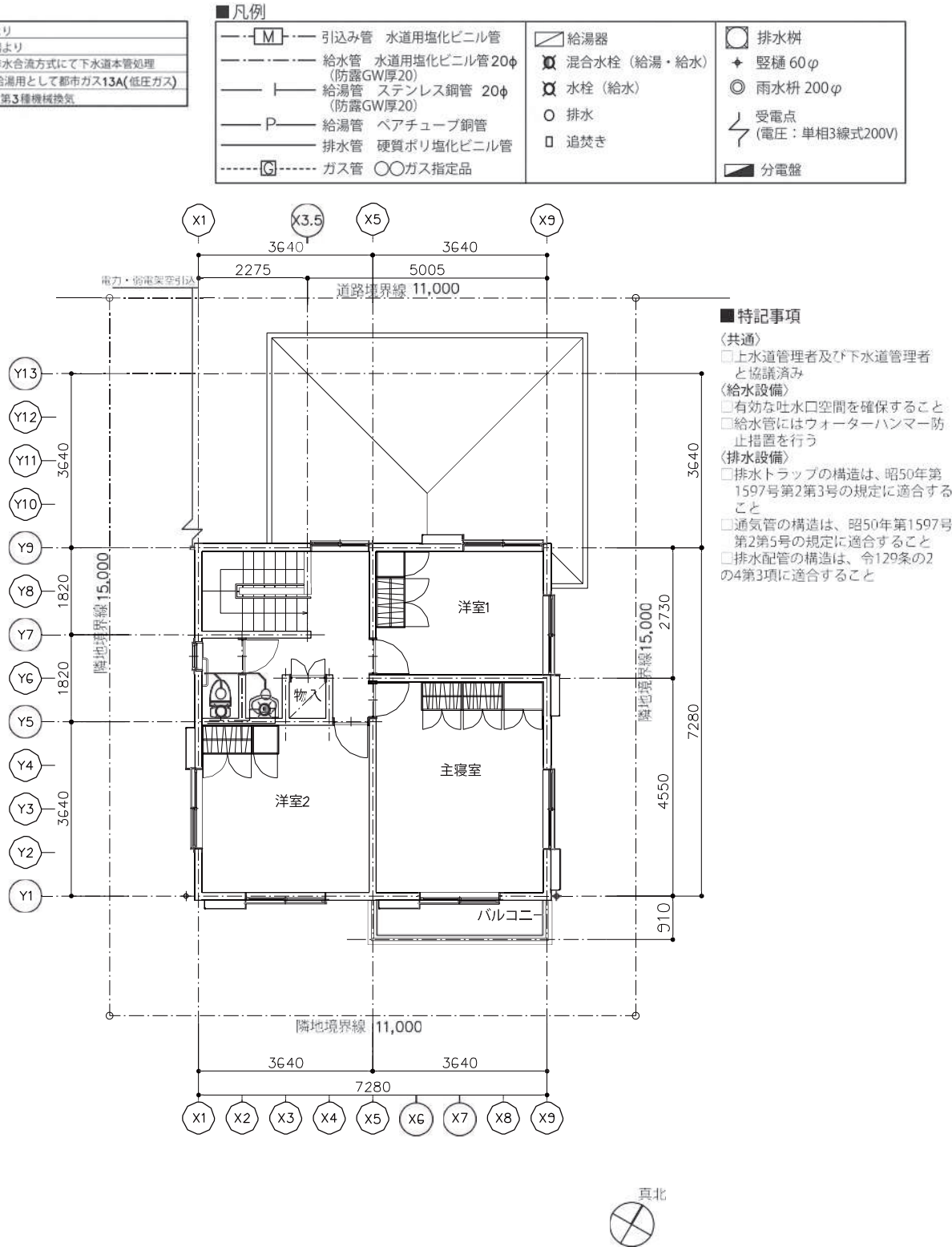




■1階平面図 S=1/100



■2階平面図 S=1/100

・ホルムアルデヒドの発散による衛生上の支障がないようにするための構造

種類	機械換気設備（第3種換気）
換気回数	0.63回/h（下表による）
居室出入口の通気措置	ドアのアンダーカット1cm、ふすま、引戸、換気ガラリ
機械換気最終設置場所	便所（1階、2階）

■居室毎の機械換気設備※換気経路ではない納戸、押入は対象外

室名	床面積 ㎡	平均天井高 h	気 積 ㎥	必要有効 換気量(A) ㎥/h	換気種別	給気機による 給気量(A) ㎥/h	排気機による 排気量(B) ㎥/h	換気回数 n
1F 玄関	2.485	2.580	6.412	254.960×0.5 127.480	第3種換気設備 給気口及び 排気機		80	
1F ホール	5.300	2.400	12.720					
1F 廊下	4.304	2.400	10.330					
1F 階段	2.070	2.175	4.503					
1F 便所	1.820	2.400	4.368					
1F 台所	9.937	2.400	23.849					
1F 居間	16.562	2.400	39.749					
1F 和室・床の間	11.593	2.400	27.824					
2F 廊下	6.624	2.400	15.898		第3種換気設備 給気口及び 排気機		80	
2F 階段	4.140	2.400	9.936					
2F 便所	1.656	2.400	3.975					
2F 主寝室	16.562	2.400	39.749					
2F 洋室1	9.937	2.400	23.849					
2F 洋室2	13.249	2.400	31.798					
合計			254.960				160	0.63>0.5

■有効換気計算表

室名	建具記号	開口部名称 サッシサイズ	窓ガラスの面積 B	居室面積 S	有効換気面積 C=B/2	必要換気面積 D=S/20	換気判定 C>D
居間・食事室	AW1	引違い(南側) W1650/H2200	0.7×2.0×2=2.80	16.562	1.40	0.83	○K
和室	AW2	引違い(南側) W1650/H2000	0.7×1.8×2=2.52	11.593	1.26	0.58	○K
主寝室	AW3	引違い(南側) W1650/H2000	0.7×1.8×2=1.26	16.562	1.26	0.83	○K
洋室1	AW4	引違い(北側) W1650/H1100	0.7×1.0×2=1.40	9.937	0.70	0.50	○K
洋室2	AW4	引違い(南側) W1650/H1100	0.7×1.0×2=1.40	13.249	0.70	0.66	○K

■採光適合確認

室名	建具記号	開口部名称 サッシサイズ	直上頂部から 敷地境界 D	窓中心から 直上頂部 H	採光補正係数		窓ガラスの面積 B	有効採光面積 E=A×B	居室面積 S	必要採光面積 F=S/7	採光判定 E>F
					D/H×6-1.4(算定式)	A					
居間・食事室	AW1 2階軒先	引違い(南側) W1650/H2200	1.650	4.383	2階軒先	0.85	0.7×2.0×2=2.80	2.38	16.562	2.37	○K
	AW1 バルコニー	引違い(南側) W1650/H2200	1.450	1.500	バルコニー						
和室	AW2	引違い(南側) W1650/H2000	1.650	4.483	0.80	0.80	0.7×1.8×2=2.52	2.01	11.593	1.66	○K
主寝室	AW3	引違い(南側) W1650/H2000	1.650	0.875	9.91	3.00	0.7×0.9×2=1.26	3.78	16.562	2.37	○K
洋室1	AW4	引違い(北側) W1650/H1100	10.346	1.167	51.79	3.00	0.7×1.0×2=1.40	4.20	9.937	1.42	○K
洋室2	AW4	引違い(南側) W1650/H1100	1.650	1.167	7.08	3.00	0.7×1.0×2=1.40	4.20	13.249	1.89	○K

居間・食事室の窓AW1の直上にはバルコニーがありますので、バルコニーの頂部と2階軒先から敷地境界線までの水平距離（D）の両方について検討を行い、厳しい条件の方が採光補正係数（A）となります。採光補正係数の最大は、3.0ですので、「D/H×6-1.4」の値が3.0を超えた場合は、3.0が採光補正係数（A）となります。